



鉄砲玉^{てつぽだま}

宮坂静生

霧雲を祀るや仁科神明宮
平葺の檜皮の山もご遷宮
檜皮へぐ・こづくよ梅雨の匠技
梅雨の宮紐の大麻がご神体
檜扇の雨を弾きてよろこべり
梅雨の葉騒や羽化を待つ葉っぱたち

旧栖の地

岡麓梅雨の火鉢を抱きるしか
草に灯が入りて梟ばかり殖え
齧^{にれか}むに似て特攻を悼む夏
ゆりの木は実につはものは鉄砲玉^{てつぽだま}
机上から消えし消しゴム晩夏光
乾電池からつぽ網戸だれか覗く
菅貫や貧乏ゆすりあの世まで
梅雨明けを待たず花野へすすみをり

